

本時のねらい

- ・校区内の小学生が中学校について知ることができるクイズを作成し、Google スライドにまとめて表現することができる。
- ・クイズを作成する際に、校内の教職員にインタビューを行い、その記録を整理することができる。

本時における 1 人 1 台端末の活用方法とそのねらい

- ・小学生に中学校を知ってもらうクイズを Google スライドで作成することを通して、魅力あるプレゼンテーション資料を作成する。
- ・インタビューの記録を、分かりやすく整理することができる。

活用した ICT 機器・デジタル教材・コンテンツ等

- ・iPad ・Google スライド ・Keynote ・Google クラスルーム

本時の展開

学習の流れ	主な学習活動と内容	ICT 活用のポイント・工夫
導入 (5分)	<ul style="list-style-type: none"> ・本時のめあてと流れを確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・スライド完成後に生徒自身がスライドの見やすさをふり返ることができるように、あえて Google スライドの様式は指定せず、生徒自身に合った形でスライド作成させる。
展開 (40分)	<ul style="list-style-type: none"> ・作成するクイズのアイデア出しを行う。 ・クイズを作成するために、校内の教職員にインタビューを行う。 【インタビューした先生とインタビュー内容】 ①校長 全校生徒数と学校にいる先生の総数 ②校務員 校務員が学校でしている仕事について 【写真1】 ・スライドに掲載する教職員の写真を撮影する。 【写真2】 ・教室に戻り、スライド作成を行う。 【写真3】 ・Google クラスルームに作成したスライドを提出し、他の生徒とスライドを共有する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・インタビューを行いながら、iPad に情報を記録させる。 ・インタビューの相手に、自分が記録した情報を見せて、誤りがないかを確認してもらう。 ・写真の使用目的を伝えてから、写真撮影を行う。 ・撮影した写真は、相手に確認してもらってから使用する。 ・テキストボックスや、描写機能を用いながら、スライド作成を行う。 ・スライドを共有（共同編集）し、写真の挿入など役割分担をして作業を進める。
まとめ (5分)	<ul style="list-style-type: none"> ・作成したスライドを確認する。 ・次回の活動内容を確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・スライドの確認を行い、相手がわかりやすいスライドになっているかの確認を行う。

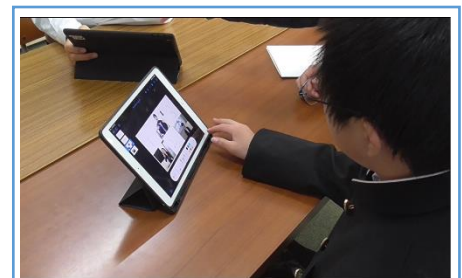
1 人 1 台端末を活用した活動の様子



【写真1】校務員にインタビューを行っている場面



【写真2】スライドに掲載する教職員の写真を撮影している場面



【写真3】スライドの作成を行っている場面

児童生徒の反応や変容

- ・小学生に出すクイズということで、どんな風にならうかなあと言いながら、ふだん消極的な生徒も意欲的に取り組んでいた。
- ・クイズに写真を入れようしたり、教職員にインタビューに行くなど工夫する様子も見られ、スライド作成もスムーズに進めていた。

授業者の声～参考にしてほしいポイント～

- ・下級生へのクイズを作るという内容なので、自分たちの知っていることを自信を持って発表できる良い機会になった。また、ふだんから人との関わりに消極的な生徒が iPad を通してコミュニケーションを取ろうとする姿を見ることができた。